

札幌市健康づくり基本計画「健康さっぽろ21」の最終評価

「健康さっぽろ21」は、国が策定した「健康日本21」の札幌市計画であり、第4次札幌市長期総合計画の健康づくり分野の個別計画として策定

- 基本理念：市民一人ひとりの健康づくりを応援します
- 基本目標：すこやかに産み育てる／健康寿命の延伸／健康な地域づくり
- 計画期間：平成15年度～25年度

1 全体的な最終評価

全体的な指標の推移をみると、目標を達成、または目標に向かって推移している項目が全体の4分の3となっており、これまでの健康づくりに向けた取組の効果や市民一人ひとりの健康づくりへの意識が高まっていることがうかがえる。一方で、計画策定時に掲げた目標値や国の実績値とは隔たりのある指標もあった。特に、「妊婦の受動喫煙に配慮する人」のように、中間評価時では改善したものの、最終評価時では中間評価時より後退した指標もあった。

指標の達成状況

評価基準	件数
◎：目標値を達成している	5
○：目標値に向かって推移している	94
△：変化なし	5
▲：目標値から遠ざかっている	27
—：評価できない	1
計	132

2 基本目標の評価

(1) すこやかに産み育てる

評 価

【現状】

○ゆったりとした気分で育児をしている母親の割合はやや増加

○子育てに心配ごとのある母親の割合は4か月児の母親を除いてわずかながら目標に向かって推移

- ・10か月児の母親：53.9%→51.8%
- ・3歳児の母親：70.1%→68.0%

○児童相談所の虐待受理事件数は計画策定時より増加

【課題】

育児不安の軽減及び児童虐待発生予防のため、安心して子育てができるような環境づくりを進めることが求められる。

- ・妊娠中からの訪問指導などの予防対策強化
- ・地域の子育て支援の充実

【現状】

○10歳代の人工妊娠中絶率、未成年の喫煙率・飲酒率の減少など多くの指標で計画策定時よりも改善

- ・未成年の喫煙率：15.8%→1.7%
- ・未成年の飲酒率：38.9%→8.3%

○正しい性感染症の知識を持つ人などの指標ではあまり改善がみられない

○10～14歳の自殺率など、目標値から遠ざかっている指標もある

【課題】

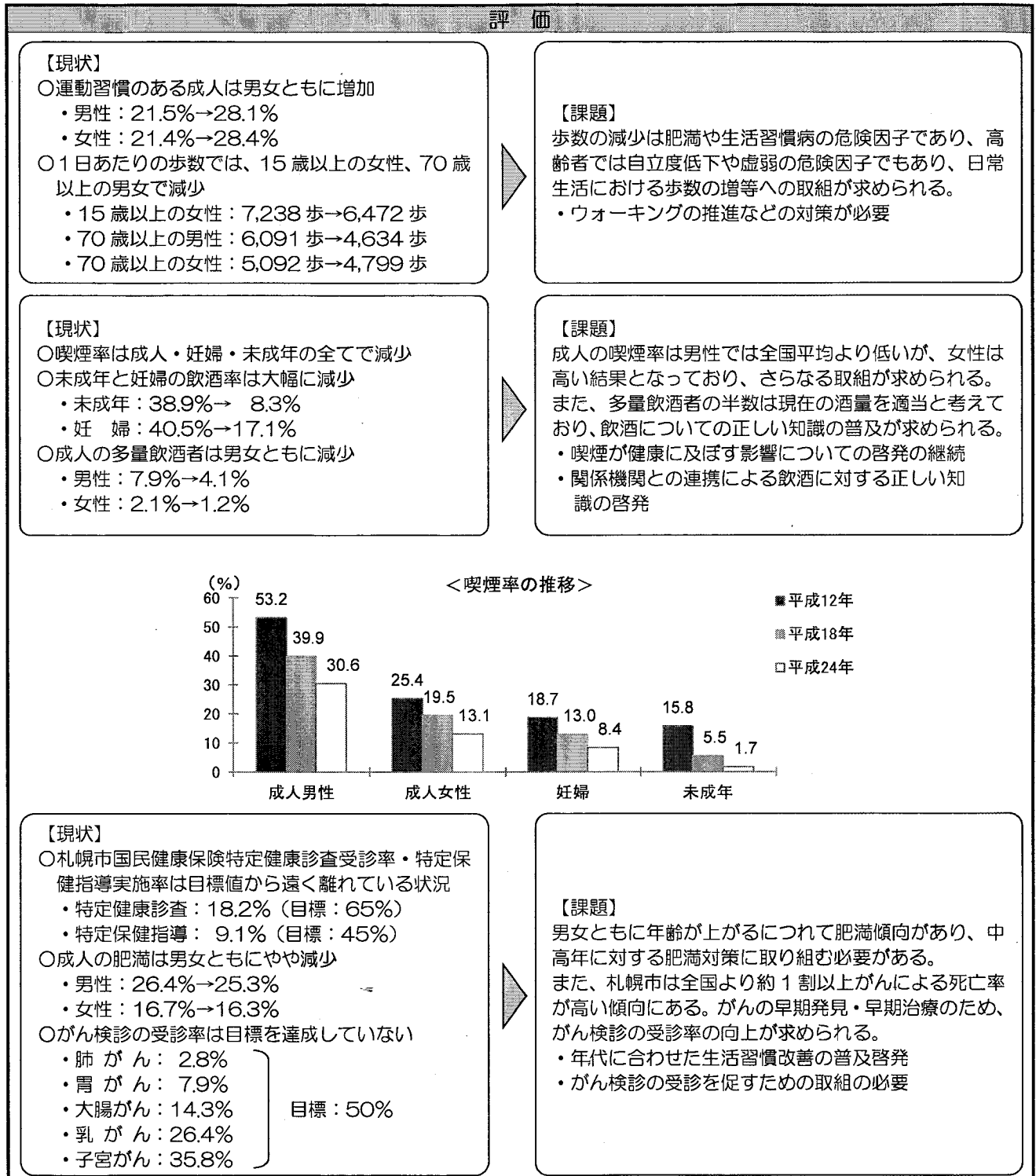
思春期における心と身体の健康を育むことは、生涯を通じた健康づくりを行うための基礎となる。

- ・思春期における心と身体の健康教育が重要

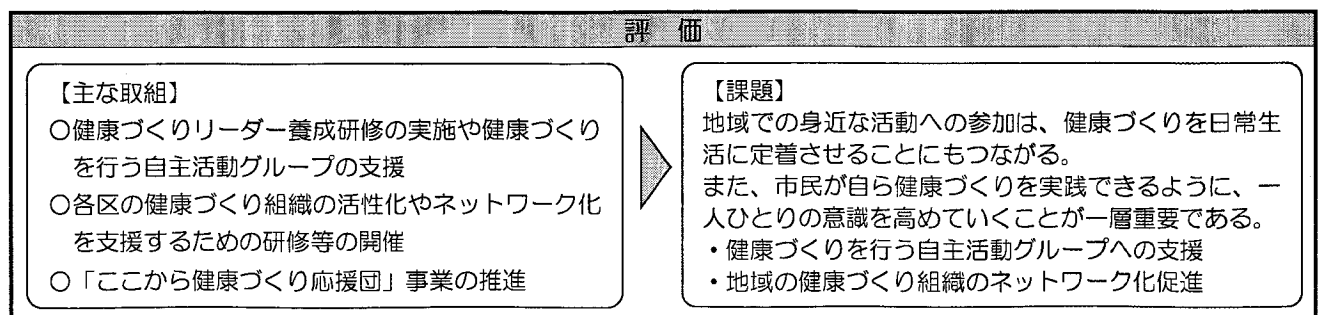
<10歳代の人工妊娠中絶率>

年度	札幌市 (人口千対)	全国 (人口千対)
平成12年	24.0	12.1
13年	25.6	13.0
14年度	22.8	12.8
15年度	19.7	11.9
16年度	17.3	10.5
17年度	15.2	9.4
18年度	14.4	8.7
19年度	14.0	7.8
20年度	13.2	7.6
21年度	12.5	7.3
22年度	11.4	6.9

(2) 健康寿命の延伸



(3) 健康な地域づくり



領域別の評価

領域	指標の達成状況	課題
(1)母子保健		
①思春期の心と身体 の健康づくり	薬物の正しい知識を持つ人や、10歳代の自殺率、毎年朝食をとる中・高校生は目標値を下回った。 ○：実績値が目標に向かって推移している項目 11 △：変化なし 2 ▲：目標から遠ざかっている項目 3 －：評価できない 1	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期の心や悩みの相談体制をより充実させていくことが必要 ・薬物乱用防止を図るために、薬物に対する正しい知識を普及させていくことが必要 ・中・高校生に、朝食の大切さを啓発することが必要
②生涯を通じた女性 の健康づくり	人工妊娠中絶率、妊婦の喫煙率や飲酒率などが大きく減少した。 ○：実績値が目標に向かって推移している項目 10 ▲：目標から遠ざかっている項目 1	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中から産後、更年期に至る各期において、自らの健康管理を行うことができるよう支援が必要
③子どものすこやかな 成長への支援	「BCG接種を受けた1歳児」「麻疹予防接種を受けた1歳児」「育児に参加する父親」は目標を達成した。一方、「育児期間に受動喫煙に配慮する人」の割合がやや減少し、また、「児童相談所の虐待受理件数」は増加し、目標から遠ざかっている。 ◎：実績値が目標を達成している項目 3 ○：実績値が目標に向かって推移している項目 18 ▲：目標から遠ざかっている項目 4	<ul style="list-style-type: none"> ・育児困難や児童虐待に至らないように、妊娠中から訪問指導等で予防対策を強化することや、気軽な相談体制の充実が必要 ・地域や関係機関と連携を図り、児童虐待の予防や早期発見に努めることが重要
(2)栄養・食生活	「食塩摂取量が10g未満の成人男性」「食生活に改善意欲がある人」などは目標に近いが、「毎日朝食をとる中・高校生、20歳代男性」「成人の牛乳・乳製品の摂取量」は目標値から遠ざかっている。 ○：実績値が目標に向かって推移している項目 15 ▲：目標から遠ざかっている項目 5	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活と健康保持増進への理解を深め、食事バランスガイドなどを活用した栄養バランスのとれた食事の普及啓発が必要
(3)身体活動・冬季の 健康づくり		
①身体活動・運動	「運動習慣のある成人」は増加したが、「外出に積極的な60歳以上の人(男性)」は、中間評価時で増加したものの実績値ではやや減少した。「1日あたりの歩数」は、15歳以上の女性、70歳以上の男女ともに目標値から遠ざかった。 ○：実績値が目標に向かって推移している項目 6 △：変化なし 3 ▲：目標から遠ざかっている項目 3	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の必要性についての意識を高め、日常生活における歩数を増やす等、運動を取り入れるよう継続して働きかけることが重要 ・高齢者の閉じこもり予防や健康維持を図るため、外出のきっかけづくりや地域活動等への参加をうながすことが必要
②冬季の健康づくり	「冬期間に意識的に運動している人」は男性はやや減少したが、女性はずりながら増加した。「インフルエンザの予防接種を受けた65歳以上の人」は計画策定時より大きく増加した。 ◎：実績値が目標を達成している項目 1 ○：実績値が目標に向かって推移している項目 6 ▲：目標から遠ざかっている項目 1	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が冬期間も安心して運動できる機会や、地域の健康施設の利用、転倒予防の対策などを充実させていくことが必要
(4)休養・こころの健康 づくり		
①休養	「睡眠により疲労がとれない成人」は減少し、目標を達成した。「1日あたりの余暇活動時間」は増加傾向にある。 ◎：実績値が目標を達成している項目 1 ○：実績値が目標に向かって推移している項目 3 △：変化なし 2	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠の問題を防ぐ情報や上手な睡眠のとり方について普及啓発を行うことが重要で、特に睡眠による休養がとれていない30～50歳代に対する啓発が必要
②こころの 健康づくり	「悩みを相談する人がいる(16～19歳)」は増加傾向にあり、「自殺率」は低下した。 ○：実績値が目標に向かって推移している項目 3	<ul style="list-style-type: none"> ・本人や家族のこころの健康について相談できる機関の体制充実を図るとともに、広報も重要

領域	指標の達成状況	課題						
(5)たばこ	<p>「成人の喫煙率」では、女性は全国値より高いものの、男女ともに目標に向かって推移している。「喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識を持つ人」は全体的に増加傾向にあるが、「妊娠に関連した異常についての認知度」は目標値から遠ざかっている。</p> <table border="1"> <tr> <td>○：実績値が目標に向かって推移している項目</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>▲：目標から遠ざかっている項目</td> <td>4</td> </tr> </table>	○：実績値が目標に向かって推移している項目	15	▲：目標から遠ざかっている項目	4	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙の支援を進めるため、健康教育による普及啓発などの対策を充実させることが必要 行政、企業、市民が一体となり、喫煙率の低下と受動喫煙防止のための積極的な取り組みが必要 		
○：実績値が目標に向かって推移している項目	15							
▲：目標から遠ざかっている項目	4							
(6)アルコール	<p>全ての指標で目標値に向かって推移している。</p> <table border="1"> <tr> <td>○：実績値が目標に向かって推移している項目</td> <td>4</td> </tr> </table>	○：実績値が目標に向かって推移している項目	4	<ul style="list-style-type: none"> アルコールによる健康への影響等について、健康づくりネットワークや関係機関などと連携し、正しい知識を普及させることが重要 				
○：実績値が目標に向かって推移している項目	4							
(7)歯の健康	<p>「フッ素塗布を受けた3歳児」は目標を達成し、「むし歯のない3歳児」はほぼ目標を達成した。一方、「むし歯になるおそれがある1歳6か月児」は、目標値から遠ざかった。</p> <table border="1"> <tr> <td>◎：実績値が目標を達成している項目</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>○：実績値が目標に向かって推移している項目</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>▲：目標から遠ざかっている項目</td> <td>1</td> </tr> </table>	◎：実績値が目標を達成している項目	1	○：実績値が目標に向かって推移している項目	8	▲：目標から遠ざかっている項目	1	<ul style="list-style-type: none"> 幼児のむし歯予防のため、「かかりつけ歯科医」の推進やフッ化物塗布の勧奨等について歯科医院等の関係機関との連携を図るとともに、むし歯予防に対する普及啓発が必要
◎：実績値が目標を達成している項目	1							
○：実績値が目標に向かって推移している項目	8							
▲：目標から遠ざかっている項目	1							
(8)糖尿病・循環器病・がん	<p>「成人の肥満」では、男性はわずかながら減少し、目標に向かって推移している。一方、「1日あたりの歩数」(女性)、「がん検診受診率(胃がん・肺がん)」などは目標から遠ざかっている。</p> <table border="1"> <tr> <td>○：実績値が目標に向かって推移している項目</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>▲：目標から遠ざかっている項目</td> <td>7</td> </tr> </table>	○：実績値が目標に向かって推移している項目	23	▲：目標から遠ざかっている項目	7	<ul style="list-style-type: none"> 年齢が高くなるにつれて肥満者の増加がみられ、食生活の改善や運動習慣の定着など、年代に合わせた生活習慣改善の普及啓発を進めることが重要 がん検診の受診率向上のため、職域との連携や普及啓発を進めるとともに、受診機会の充実を図ることが重要 		
○：実績値が目標に向かって推移している項目	23							
▲：目標から遠ざかっている項目	7							
(9)健康危機管理	<p>「麻疹予防接種を受けた1歳児」は目標を達成した。一方、「HIV感染者届出数のうち、発病してからの届出数」は中間評価時から遠ざかった。</p> <table border="1"> <tr> <td>◎：実績値が目標を達成している項目</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>○：実績値が目標に向かって推移している項目</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>▲：目標から遠ざかっている項目</td> <td>1</td> </tr> </table>	◎：実績値が目標を達成している項目	1	○：実績値が目標に向かって推移している項目	3	▲：目標から遠ざかっている項目	1	<ul style="list-style-type: none"> HIV感染者届出数のうち、発病者の割合が増加傾向となっており、早期段階におけるHIV感染者の発見に向け、相談・検査の周知を図ることが重要
◎：実績値が目標を達成している項目	1							
○：実績値が目標に向かって推移している項目	3							
▲：目標から遠ざかっている項目	1							